

一般質問



専用アプリで読み取ると
議会中継がご覧いただけます

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について質問したり、説明や報告を求めたりするものです。

9月定例会では14人の議員が一般質問を行いました。各議員の主な質問は次のとおりです。

詳細は次の方法よりご覧ください。

◆インターネット議会中継

生中継（開催日のみ）・録画放映がご覧いただけます。

◆会議録

冊子は市役所市政情報コーナー、図書館、地域公民館でご覧いただけます。なお、会議録はインターネットでもご覧いただけます。

※9月定例会の会議録は12月に発行予定です。

省工ネ対策

地球温暖化対策と省エネ

江川 直一
(公明党)

国は温室効果ガスの排出削減のため、地球温暖化対策計画を公表し、地方に計画的な施策を求めている。省エネは経費削減につながるため積極的に取り組むべきと考える。

問 環境配慮契約の推進について本市の見解は。
答 環境負荷軽減の効果が期待されるが、効果を評価する仕組みが必要となるため、他市事例等を調査研究していく。

問 新電力の導入状況は。
答 平成26年12月から、本庁舎・学校等、50の公共施設で新電力PPSを導入し、平成28年度の削減効果額は、約4100万円となっている。

問 節電した電力のネガワットと発電した電力を同じ価値として売買する、アグリゲーター企業が間に入る取引が始まった。本市の見解を伺う。

答 新制度のため、先進事例を調査し、小口契約も含め研究していく。
問 上下水道事業での省エネ対策は。
答 水道事業では総水量に応じて、インバータでポンプの回転数を制御し、消費電力削減をしている。下水道事業では、モーターの効率を向上させ、消費電力を削減する高効率ポンプを導入している。今後も省エネルギー設備の導入に積極的に取り組んでいく。

環境センターにおいて、多くの電力を使う設備が壊れた事で、本年4月から新しい設備が稼働しているが効果の検証は。

問 尿等を処理する設備において、処理方式、形態を変えたことにより、消費電力の削減効果が表れた。参考事例として今後まとめたい。
その他の主な質問
○保育事業・子育て政策

問 障がいのある方などが携帯し、災害時や緊急時に支援内容を周囲に伝えるヘルプカードが全国に広がっている。また、カードに描かれているヘルプマークがJISに追加され、全国共通のマークとなった。本市の安心安全カードのこれまでの取り組みは。
問 困ったときに周囲に提示し、援助を受けやすくするため、平成25年度に導入し、福祉課や社協の窓口で配布している。

障がい者支援

ヘルプカード、ヘルプマークについて

二本柳 妃佐子
(公明党)

啓発に努める。

問 ヘルプカード導入への本市の考えは。
答 年内中には現在の安心・安全カードからヘルプカードに変更する方向で進め、周知、PRを図っていききたい。

問 振り込め詐欺防止対策とする特殊詐欺被害が発生し続けている。被害防止に向けた電話機での対策は。
答 受話器を上げた際、ボタンを押すと警告メッセージが再生される機器を2千個作成し、出前講座等で配布している。



ヘルプマーク

問 ヘルプマークの周知普及活動の考えは。
答 市報、ホームページへの掲載を初め、さまざまな機会をとりえて周知

問 手形型の注意喚起メッセージが書かれたポツプアップシールを作成、配布し詐欺防止に取り組んでいる自治体もあるが本市の考えは。
答 安価で抑止効果が期待できることから、作成に向けて研究していく。